

週間市場レポート

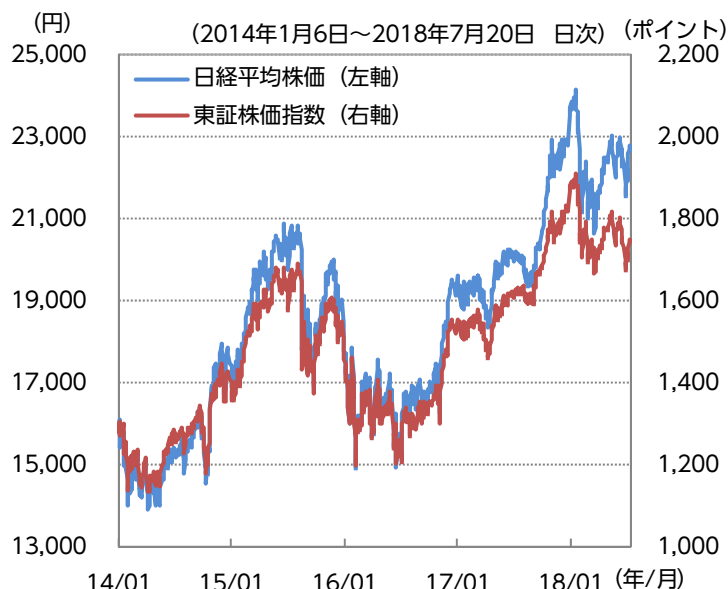
(2018年7月16日～7月20日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。前週から引き続き4日続伸し、18日（水）には6月15日以来、約1カ月ぶりの高値を付けました。週央以降は、中国人民元安により中国経済の不透明感が改めて意識され、週末まで2日続落となりました。
(週末引け値：22,697.88円)

- 週間では、日経平均株価は0.44%の上昇、東証株価指数は0.86%の上昇でした。

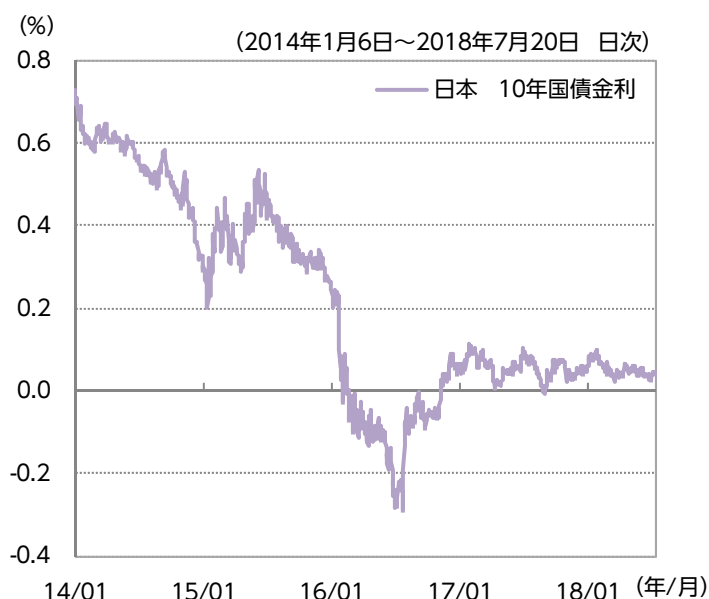


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で小幅に低下となりました。日銀が実施した国債買い入れオペ（公開市場操作）の結果や米中貿易摩擦が激しさを増すとの懸念等を受け、利回りは低下基調となりました（価格は上昇）。（週末引け値：0.035%）

- 週間では、0.005%の低下となりました。

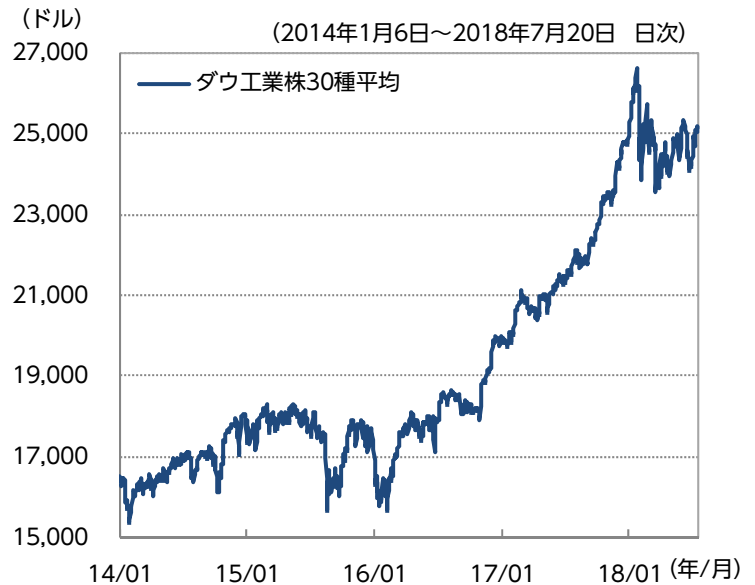


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。堅調な米企業決算等を背景に、前週から引き続き18日（水）まで5日続伸となりました。欧州連合（EU）が米国からの輸入品に対し報復関税を課す可能性から先行き懸念が高まると、週後半は売り優勢の展開となりました。（週末引け値：25,058.12ドル）
- 週間ではNYダウは0.15%の上昇となりました。

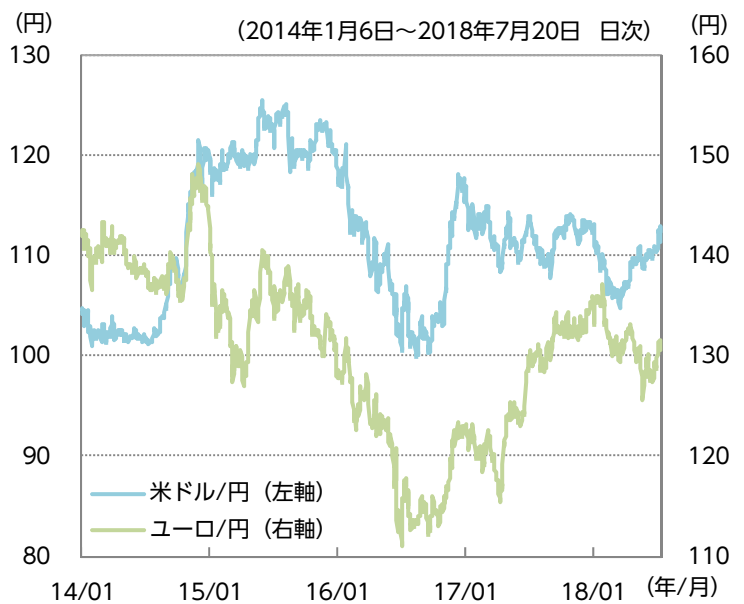


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の議会証言を控え、週初は持ち高調整の円買い米ドル売りが優勢となりました。中国人民元下落の容認観測により米中貿易摩擦激化への懸念が強まり、週末も円買い米ドル売りが優勢となりました。（週末引け値：111円45銭～55銭）
- 週間では米ドル/円は0.86%の円高、ユーロ/円は0.51%の円高となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>